

保健福祉課

☎ こども家庭係 (138)

大崎町内の子ども食堂へ寄付の贈呈

11月11日(月)、大崎町の子どもたちのために頑張っておられる子ども食堂の運営に役立ててほしいとの思いで、二人の方から寄付をいただき、贈呈式をおこないました。

大崎町在住の方から、昨年度に続き2回目となる寄付をいただき、寄付者に代わり町長と教育長から、子ども食堂4事業所の代表者へ、目録と一緒に応援金を贈呈しました。

また、介護デイサービス事業所「かきの木」代表有村様よりお米の寄付をいただき、おおさき子ども食堂ネットワークの代表者へ贈呈しました。

現在、大崎町では、のがた子ども食堂(野方)、子ども食堂いちごちゃん(大丸と中沖)、ひまわり食堂(菱田)、こども食堂おおさきッズ(大崎)の4団体が活動しています。栄養のある食事の提供だけでなく、子どもたちの居場所や地域の交流の場となる子ども食堂の運営に役立てていただければと思います。

前回の寄付は、不足していた米、価格が高騰した弁当容器、食材保存用の冷蔵庫の購入と、果物やプリンなどのデザート一品追加などに活用されました。その他に、夏休みに通常月1回のみ開催のところを2回開催し、ゲームイベントをおこなった際の景品に充てられたそうです。

なお、今回は、大崎町内の子ども食堂全体への寄付でしたが、各団体単独で、お米や野菜などの寄付をいただくこともあるとのことでした。



保健福祉課

☎ こども家庭係 (138)

毎年11月は児童虐待防止推進月間

児童虐待に関する相談対応件数は、全国的に依然として増加傾向にあり、重大な事件も後を絶たないなど深刻な状況が続いていることから、社会全体で解決すべき重大な課題となっています。

こども家庭庁では11月を「秋の子どもまんが月間」と定め、子ども・子育てにやさしい社会づくりのための取り組みとして「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」を実施し、社会全般にわたり児童虐待問題に対する深い関心と理解を得ることができるよう、広報・啓発活動をおこなっています。

その一環として、児童養護施設、乳児院などで企画した「オレンジリボンBig Smile Challenge Project」に大崎町として参加しました。プロジェクトでは、笑顔をつなぐリレーとしてロードバイクで南九州内の関係機関を回り、一人一人の笑顔の写真を撮影し、それを使用したモザイクアートを作成し、展示するとのことでした。

